

第1章 吉岡町 2020年の将来像

わたしたちのまち吉岡は、榛名山麓の利根川の河岸段丘上に広がり、縄文時代から人々が住み始めた、安全で住みよい地域といえます。町内には多くの古墳が見られます。

この恵まれた自然・歴史のもとで、近年は更なる人口増加が続いてきました。

この10年間は「人と自然が共生した 住みよいまち よしおか」を将来像とし、まちづくりの成果をあげてきましたが、さらに「住みよい魅力のあるまち」を目指し、将来像を「キラリ ✨ よしおか 一人と自然輝く 丘の手タウン 吉岡町」とし、その実現に向けて、町民と行政が共に協力してまちづくりを進めていきます。

キラリ ✨ よしおか

— 人と自然輝く 丘の手タウン 吉岡町 —

- 1 支え合う健康と福祉のまちづくり
- 2 心豊かな教育と文化のまちづくり
- 3 活力ある産業と雇用のまちづくり
- 4 魅力的な自然と環境のまちづくり
- 5 住みよい便利で安全なまちづくり
- 6 町民と行政が協働するまちづくり

「キラリ」という輝きを表現する言葉を用い、町民の輝く笑顔と町の輝く将来の発展への願いを込めています。また「キラリ」と「よしおか」の間に「✨（道の駅でも使われている風車マーク）」を入れ、町のシンボルである風車をアピールします。

なお、このタイトルは「住みよい町」+「魅力的な町」を個性的に表現したもので、町民が輝く町として誇りを持って住むための合言葉です。

手には方向という意味があり、「吉岡をよい丘（よし丘）」とかけています。そのため、丘の手タウンと表現しました。

